http://www.asahi-net.or.jp/~jh8r-mtd/gorakuren/

第１８１号

発行日　平成１８年８月２６日
発行所　八王子の碁を楽しむ活きいき連合
住　所　南大沢５－９－１０－６０１
ＴＥＬ（０４２）６７５－１５８１
発行人　竹 島　正 義
編集者　渡 辺 己 三 男

碁楽連の目的

碁楽連は、八王子市内に居住する高年者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるようにその機会を提供し、高年者の福祉の増進に寄与することを目的とする。

残暑お見舞い申し上げます

長かった梅雨も明けてすっかり夏らしくなりました。あなたは冷房の中で碁を楽しみながら暑さに耐えていますか？それともお孫さんと一緒に海か山へいらっしゃいましたか？それぞれ元気に過ごしておられると思います。私は、先日１週間ほど家内と能登から奥飛騨へマイカーで１，２００キロの旅を楽しんできました。能登では海の幸を、奥飛騨では山の冷気をたっぷりいただいてリフレッシュできました。

ところで、８月６日台町の活きいき大会では碁楽連の最高齢者である倉田政治２段が参加しておられました。お歳は９４歳です。耳はやや遠いようですが、お元気そのもの、台町での例会にもほとんど毎週出席していらっしゃるとのことです。碁楽連での貴重な存在として紹介いたします（４頁写真)。

さて、８月２０日の由井大会までで１１のうち８の地区大会が終わりました。渡辺理事が作成してくれた資料によると、延べ参加者数は３９４名で、昨年に比べて６２名、１９％も増えています。特に、北野同好会員が毎回１０名以上も他地区の大会に参加しており、いうなれば「北野旋風」といったところです。一方、寿同好会の会員でない方も６５名含まれていますが、これらの方にはぜひ同好会に加入していただきたいものです。今月は、納涼のために私の最も好きな写真をカラーでお届けします。

ニュージーランド最高峰のマウントクック　竹島会長撮影

第16回活きいき囲碁　由木大会のご案内

日　　時	平成１８年９月１０日（日）　受付　午前 9 時 00 分～9 時 30 分
会　　場	由木中央市民センター（下柚木2-10-6　電話 676-8123）
主　　催	由木寿囲碁同好会（会長 杉渕 清　　電話 670-8733）
後　　援	八王子市、八王子市教育委員会
参加資格	八王子市に在住している 60 歳以上で 10 級以上の囲碁愛好者
参 加 費	７００円（弁当代を含む）
競技方法	２ないし３のクラス別に行い入賞者に賞品を進呈します。
申 込 先	会長代理　穂積宏易　　電話 635-9583
注意事項	①自家用車でのご来場はなるべくご遠慮ください。 ②失格にならないように定刻においでください。 活きいき囲碁大会での５段以下の優勝者も昇格後の段級位で再出場できます。

第16回活きいき囲碁　北野大会のご案内

日　　時	平成１８年９月２４日（日）　受付　午前 9 時 00 分～9 時 30 分
会　　場	北野市民センター(北野町545-3 きたのﾀｳﾝﾋﾞﾙ7･8階 電話 643-0440)
主　　催	北野寿囲碁同好会（会長 刀根 正樹　電話　635-7749）
後　　援	八王子市、八王子市教育委員会
参加資格	八王子市に在住している 60 歳以上で 10 級以上の囲碁愛好者
参 加 費	７００円（弁当代を含む）
競技方法	３ないし４のクラス別に行い入賞者に賞品を進呈します。
申 込 先	会長　刀根 正樹　　電話　635-7749
注意事項	①自家用車でのご来場はなるべくご遠慮ください。 ②失格にならないように定刻においでください。 活きいき囲碁大会での５段以下の優勝者も昇格後の段級位で再出場できます。

第16回活きいき囲碁　長房大会のご案内

日　　時	平成１８年１０月８日（日）　受付　午前9時00分～9時30分
会　　場	長房ふれあい館（長房町588 都営長房西1号館1階　電話 669-1433）
主　　催	長房寿囲碁同好会（会長 市川 隆一　電話　661-7306）
後　　援	八王子市、八王子市教育委員会
参加資格	八王子市に在住している60歳以上で10級以上の囲碁愛好者
参 加 費	７００円（弁当代を含む）
競技方法	２ないし３のクラス別に行い入賞者に賞品を進呈します。
申 込 先	会長　市川 隆一　電話　661-7306
注意事項	①自家用車でのご来場はなるべくご遠慮ください。 ②失格にならないように定刻においでください。 活きいき囲碁大会での５段以下の優勝者も昇格後の段級位で再出場できます。

第１６回活きいき囲碁　石川大会の結果

平成１８年７月２３日開催

参加者数４４名（石川１６、北野１０、大和田９、浅川１、長房１、非会員７）

Ａクラス（２段以上・参加者１４名）

優勝　遠藤治夫５段/北野→６段に昇格　準優勝　松本健彦６段/石川
第３位　小沢美智子４段/非会員

Ｂクラス（２段～１級・参加者１６名）

優勝　中村順二２段/石川→３段に昇格
準優勝　市村光彦１級/石川
第３位　田村　強初段/石川

Ｃクラス（１級以下・参加者１４名）

優勝　山川睦夫４級/大和田→３級に昇格
準優勝　福島きみよ２級/非会員
第３位　建守貞彦５級/非会員

第１６回活きいき囲碁　台町大会の結果

平成１８年８月６日開催

参加者数３８名（台町１８、北野１１、浅川３、石川３、元八王子１、非会員２）

Ａクラス（４段以上・参加者１２名）

優勝　森下武司４段/石川→５段に昇格　準優勝　松見勝義５段/浅川
第３位　塩津　浩５段/台町

Ｂクラス（３段～２段・参加者１２名）

優勝　柳井光夫３段/北野→４段に昇格
準優勝　古屋常男２段/北野
第３位　添田悦男３段/台町

Ｃクラス（初段以下・参加者１４名）

優勝　下山正夫初段/台町→２段に昇格
準優勝　飯田清志初段/台町
第３位　小池國雄１級/台町

９４歳の倉田政治氏（台町）

参加者大幅増の活きいき囲碁 由井大会

第１６回活きいき囲碁　由井大会の結果

平成１８年８月２０日開催

参加者数５３名（由井２２、北野１２、浅川４、中野１、非会員１４）

Ａクラス（４段以上・参加者１９名）

優勝　下田政男４段/由井→５段に昇格　準優勝　松見勝義５段/浅川
第３位　花井　進６段/由井

Ｂクラス（３段～２段・参加者１９名）

優勝　二見武夫２段/由井→３段に昇格
準優勝　佐々木胖充３段/由井
第３位　池田　悟３段/浅川

Ｃクラス（初段以下・参加者１５名）

優勝　齋藤隆男初段/由井→２段に昇格
準優勝　小沢公夫６級/非会員
第３位　上田昭雄初段/浅川

地区団体対抗囲碁会

地区団体対抗囲碁会は、残すところ２回（第４回＝９月３日、第５回＝１０月１５日）となりました。下記の６名の方々は次に出場する地区団体対抗囲碁会で３勝すれば昇格条件をクリアしますので、機会をみつけて頑張ってください（碁楽連が把握している参考データですので、各同好会にてご確認ください）。

五十棲健一３段/恩方　高橋重二３段/元八王子　佐藤久雄初段/大和田、
市川公雄３段/台町　唐木　伸２段/由木　川合義章２段/長房

地区同好会めぐり（第4回・元八王子）

北条氏照と八王子城を想って

陣馬街道沿いにバス停上壱分方入口で下車、進行右に折れ、更に左右へ折れてしばらく進むと左方に元八王子市民センターがある。直裏手北側は北浅川が流れており、上流西方に宝生寺があり、センターの東南には諏訪神社がある。その昔八王子城落城の折、北浅川流域一帯の犬目、川口、横川などの里では前田、上杉の軍勢に社寺は勿論、民家に至るまで焼き払われてしまった経緯がある。今は知らぬが如く静かに流れている。センターは住宅の一角に建っているが、周囲は畑地の多い田園風景となっている。

・　テレビ界では時代物の上映が多く年輩者を楽しませているが、その影響を受けてか市内では北条氏照と八王子城の話題が頻りである。八王子城が日本の百名城の一つに選ばれ（本年二月、日本城郭協会）、東京では江戸城と共に二名城となり、知名度でも大いに向上したであろうし、講演会の頻度もあがっている様だ。地元在住者としては、この際、資料、書物を漁ってでも史実を呼び覚ましたい。

・　北条氏照と八王子城（あらまし）

八王子城は城山とも呼ばれ標高四百六十米、山頂迄は約一キロ米あるが相当な急坂である。高尾山、景信山、陣馬山など甲武にまたがる山なみの連なる山塊の一部である。北条氏照は天正年間に築城（年号詳細は不明）し、滝山城から移城（天正十五年頃）、八王子城落城は天正十八年（１５９０）である。豊臣秀吉の関東制圧の一波、北越支軍と呼ばれる上杉景勝、前田利家の軍勢が同年六月二十三日の夜明時に攻め入り落城となる。城主北条氏照はその頃、四千人の兵と共に小田原にあった。悲報を聞いた氏照は七月一日小田原城下の医師田村安清宅に於いて兄氏政と共に自決し、五十一才の生涯を終えた。

・　北条氏照の墓所（元八王子町）

北条氏照の重臣中山勘解由左江門家範の館近くに墓所がある。笠塔姿型、高さ二メートル以上ある立派なもの、塔身正面に青霄院殿透岳宗関大居士、天正十八年庚寅年七月十一日と氏照の戒名と切腹した忌日が記されている。

・　宗関寺（曹洞宗　元八王子）

縁起は古く延喜十七年（９１７）、氏照が永禄七年（１５６４）堂塔を改修し、名僧随翁舜悦（通称朴山）禅師を招請して中興開山し、牛頭山寺と寺号を改めた。八王子城陥落で牛頭山寺は消失、文禄二年（１５９０）舜悦禅師は氏照の冥福を祈る為の寺跡に堂宇を建て再

興開山した。氏照の戒名が宗関大居士であった縁から宗関寺とした。

・　心源院（曹洞宗　下恩方）

氏照夫妻をはじめ重臣達が熱心に帰依した、この古寺のそもそもの草創は文明十六年（１４８４）、滝山城主の大石遠江守定久が堂塔を建立して開基となったが、天文十五年（１５４６）北条氏康の軍勢に敗れ勢力を失った。氏康三男氏照を養嗣子に迎えいれたもと推定されている。

・　諏訪神社

陣馬街道沿いにバス停一つ手前諏訪宿で下車すると、右方に立派な鳥居が建っている。更に百米奥に行くと広々とした境内に諏訪神社がある。元亀二年（１５７１）氏照が社殿を再建したと伝えられている。八王子城落城の際は、社殿は破壊され其の後何度か再建が繰り返され現在に至る。大祭は例年八月二十六・二十七日の二日間十万人の人出で賑わい、お諏訪様のお祭りとして市民に親しまれている。

・　相即寺（浄土宗　泉町）

八王子城陥落時、討死した人々を手厚く供養したので有名な寺、百十四柱の法名連記の過去帳などがある。

・　其の他、八王子神社、宝生寺、西蓮寺、住吉神社，浄泉寺、大名屋敷、搦手門、熊野神社等係わりの場所多数あるが、紙面の都合で割愛する。

参考資料　北条氏照とその周辺　北島藤次郎著

諏訪神社栞　中央図書館蔵書　　等

佐宗 源治　会長

三浦 和夫　会長代理

柳　保治　副会長

中村　幸雄　副会長

元八王子寿囲碁同好会は市民センターの和室を利用しておりますが、会員は２５名、常連は１４～５名で和気あいあいに碁を楽しんでおります。時には有志を募って温泉宿で徹マンならぬ徹碁を打つ事もあります。碁は楽しみを生む生き物の様ですね。先日の第１６回活きいき囲碁元八王子大会では碁楽連だより（第１７９号）にも記載の様にA級（４段以上）、B級（３～２段）で入賞者６人中５名が他地区同好会の方で賞品をお渡し致しました。悲しみを越えて喜んでおります。来期第１７回大会では更なる盛り上がりを期待して大勢の参加をお待ちしております。尚、元八王子寿同好会の会費は１５００円（半年）です。

投稿

一 枚 の 古 新 聞

６月の下旬、今年初めて軽井沢の山小屋を訪れた。昨年１１月上旬以来であるから７ヶ月ぶりである。庭は、初夏の色濃く、唐松をはじめ樅、白樺、椎、栗など雑多な木々の葉が上空を濃緑に染めて、まさに森林浴たっぷりである。そして、カッコウの声も、昔よりずーと少なくなったのはさびしいが、それでもあちらの森こちらの林から時折聞こえてくるのがいかにも高原らしくて心地よい。一方、築後４０年余りを経たわが家は、山小屋そのもののようにみすぼらしい。電気、ガス、水道はあるものの、ガステーブルの点火はマッチ式のままである。マッチなど、今どき売っている店があるのかどうか知らないが、旅行のたびにホテルや旅館でせっせといただいてくるものを使っているから、どうにか不自由しないで済んでいる。冷蔵庫にいたっては、昭和３５年の NEC 製だ。最近の製品はやたらに電源を切ると故障しやすくなると聞くが、なんせ５０年近く昔の代物、必要なときだけ電気を入れるせいか、もちは抜群である。ちゃんと氷も作ってくれるので捨てがたい。

ところで、一通り掃除を済ませてテレビを見ている私のそばに一枚の古新聞が放り出された。家内がタンスを整理しながら、引き出しの底に敷いてあったものを取り替えたのだ。インクの油気も失ってすっかり茶色に変色しながらも、畳の上に大の字のように広げられ、いかにも目を通してほしいと言いたげなその姿に気を惹かれ、日付を見てアッと驚いた。なんと３２年前、昭和４９年8月２４日(土)付の朝日新聞である。

昭和４０年代といえば、確か過激派が跳梁したときである。浅間山荘事件をはじめとして、線路に敷かれた砕石や砕かれた歩道の敷石が投石された騒然たる時代だった。そして象徴的な経済変動は、昭和４８年の第１次オイルショックであろう。リッター５０円のガソリンが倍くらいに上がってしまったのを覚えている。主婦がトイレットペーパーを買うためスーパーに行列したのもこのときだった。

私は、この日の記事はどんなものだったか目を通したくなった。活字の小ささにあきれながら見ていくと、「インフレ列島」の標題で、阿波踊りの終わった徳島市の物価が前年比で２６．３％も上がったと書かれている。すっかりデフレに慣れきった今日、懐かしい言葉である。野球の記事を見ると、今は無くなった大洋、南海、太平洋などのチームが載っている。そして、それをズーッと下に辿ると囲碁である。「第７回アマ・プロ十傑戦第一譜」とあり、右に橋本宇太郎九段、続いて左に　二子　三浦　浩とある。一瞬目を疑ったが、まさにわが碁楽連の相談役をしてくださっている三浦浩氏である。棋譜の解説にいわく。「三浦浩、中園清三、今村文明。五強に迫るアマ碁界の新鋭というと、まずこの３人が挙げられる。実力、キャリアともに若手の中ではズバ抜けているのだ。」

私は、三浦氏と直接お会いしたことはないが、30 余年を経た、たった一枚の古新聞を何気なく眺めたことに始まる出会いに、「一期一会（いちごいちえ）」という言葉を改めて感じた。通例は、人同士が直接対面し、その出会いに真心を尽くし大切にすることを言うのであろうが、古新聞がこんなところで囲碁の大先生に一方的とはいえ対面させてくれた不思議な出会いを思わずにいられなかった。

私は、この勝負の続きを見たくてたまらず、帰京してから早速図書館にでかけて 32 年前の

新聞の縮刷版を調べてみた。8月31日まで7回にわたって連載されていた。そして見事に黒(三浦氏)の2目勝ちとなったのを知った。私はコピーをとり自宅で石を並べてみた。弱輩の私が言うのはおこがましいが、序盤から堂々とした力強い勝ちっぷりだった。

はや古希を経過した私にとって、いま以上の上達は望むべくもないが、せめて碁を通じた出会いは大切に、また、その出会いを求めて精進したいものである。ついでながら、捨てられる運命だった「一枚の古新聞」は、今や八王子のわが書斎でいつも私と一緒にいる。

(匿名希望)

7月の理事会報告

２２日に開かれました。主な事項は次のとおりです。

1　平成１８年度高齢者表彰の要項

今年度実施のための要綱を、おおむね前号の理事会報告でお知らせした内容で決定しました。明年度以降については、継続性を必要としますので、別途総会に付議します。

2　八王子囲碁連盟から要請された「市民囲碁大会の主催」の協議について

前号で項目だけ触れておきましたが、八王子囲碁連盟から、毎年１１月に実施している市民囲碁大会を碁楽連が主催してほしい、との要請を受けております。いろいろ調整すべきことがありますので、協議を進めております。いずれ具体化した際には、各寿同好会会長や有識者の意見を求めて方向を定めることとしました。

3　東淺川および南大沢研修部の近況について

今回は、両部の事務長に出席していただき、要望などを聞きました。

東淺川・・・研修部での昇格基準が厳しくなった結果、例会の勝率による昇格がほとんど望まれなくなった、との苦情が多い。また、部の役員も研修部大会に参加したいので、大会当日、本部から４名応援してほしい。

南大沢・・・部員減少の結果、３以上の同一の対局を勝率に算入しない規定が障害となっている。部員募集のＰＲをしたい。

本部回答・・・段級位規程ができたばかりで、今改正することは難しい。今後の様子を見る必要がある。東淺川研修部大会の応援は了解する。９月１６日の大会には以下の４名が競技委員も兼ねて出席する。竹島、望月、山崎、渡辺

また、指導碁のあと、先生から悪手の指摘がほしいとの希望があった。折を見て先生に伝えるが、部員も積極的にきいたほうがよい。

4　会員名簿の更新について

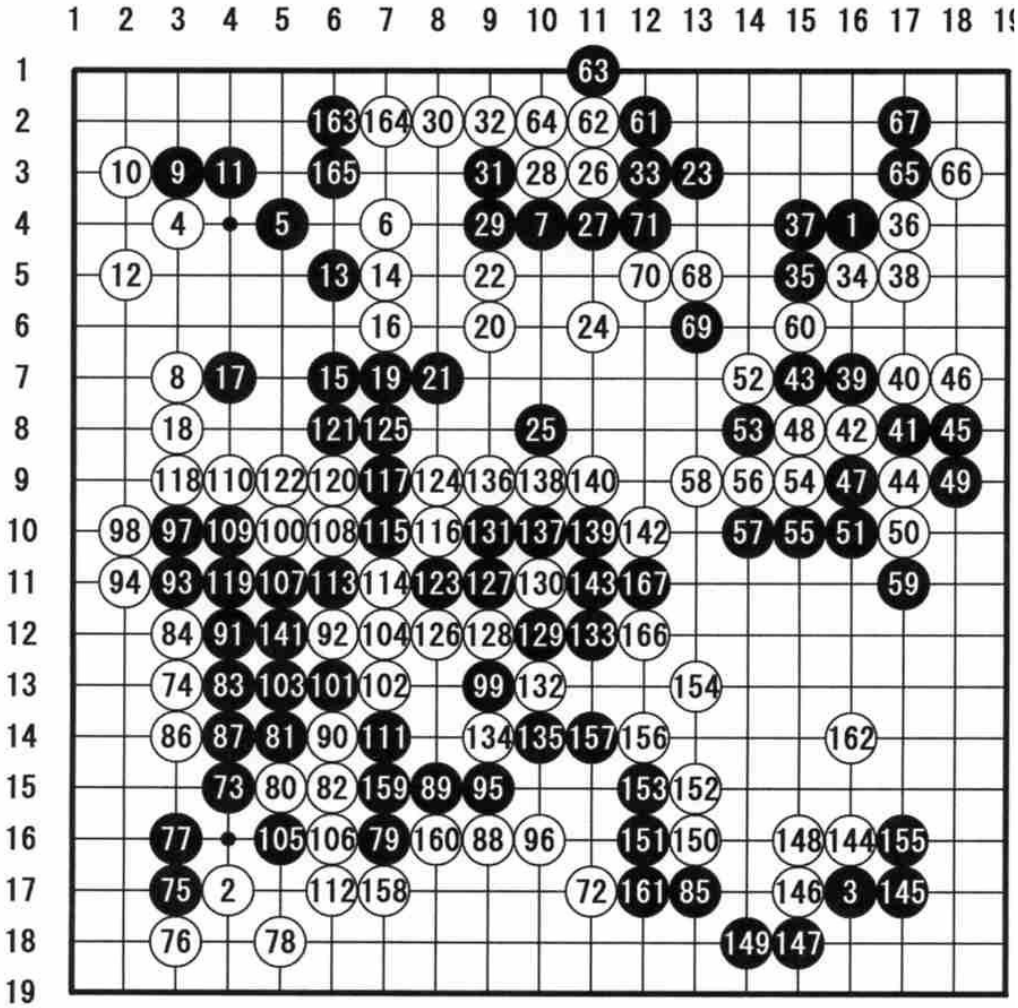
各理事の希望を次回にまとめたうえ、様式を決める。

5その他

地区団体対抗囲碁会における級位者の出席状況および昇格者の確認

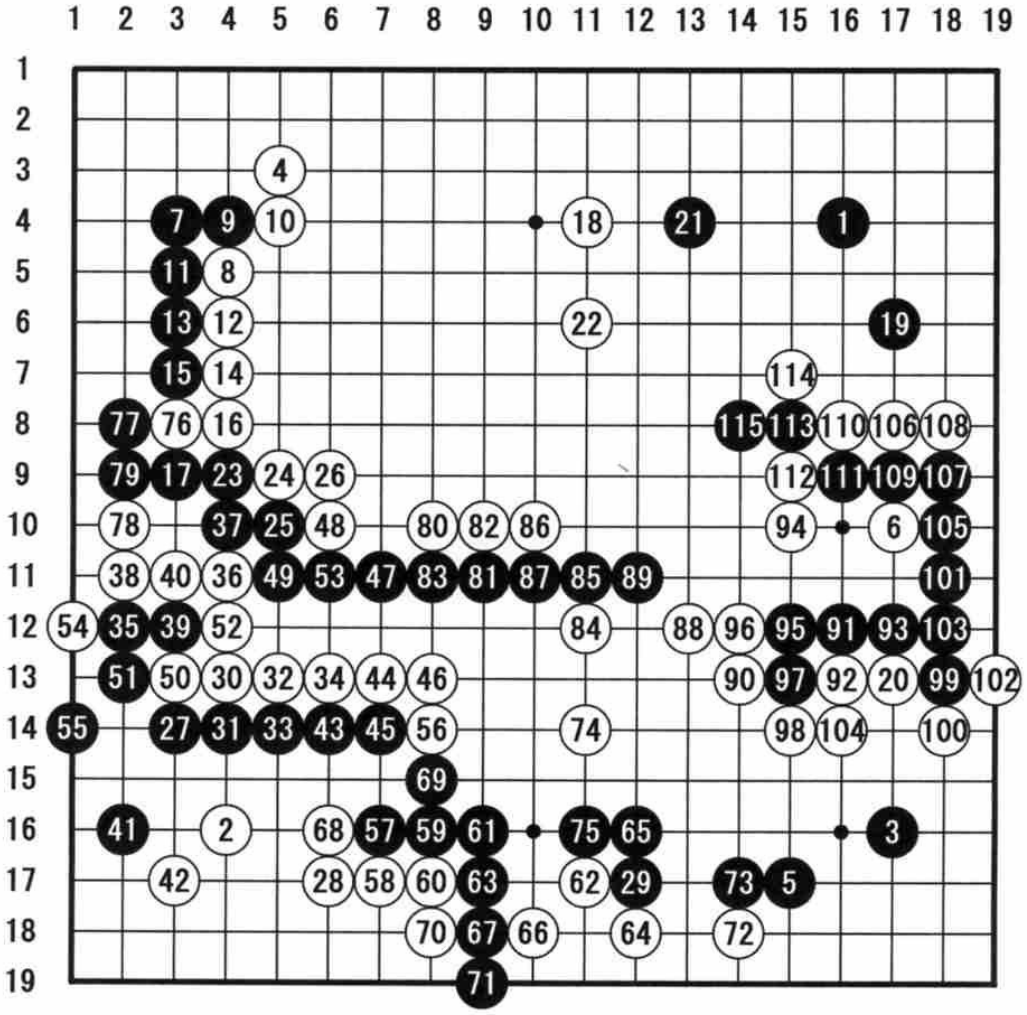
級位者の参加が、７月は6名となりかなり増えている。今月の昇格者はなし。

活きいき囲碁台町大会　Ａｸﾗｽ優勝戦　　総譜(1-167)
対局日：2006/08/06　　結果：その他
黒番：森下武司　４段　　白番：松見勝義　５段



森下武司４段/石川（手前）
対
松見勝義５段/浅川

活きいき囲碁 石川大会Ａクラス優勝戦　　部分譜(1-115)
対局日：2006/07/23　結果：その他
黒番：遠藤治夫　５段　白番：松本健彦　６段



編集後記

４月号（第１７７号）に続いて２度目の第１頁カラー版をお届けします。本号のカラー印刷もまた、竹島会長が全部数ご自分のプリンターで印刷して無償提供くださいました。誠にありがとうございます。

地区同好会めぐり、次回はすでに原稿を寄せていただいた「北野」とします。「中野」は１０月とし、以下順にずれますのでご了承ください。